

2015年11月17日

三菱地所株式会社

報道関係各位

～約100名のInstagramユーザーによる丸の内の景観写真展～ 『Marunouchipix Meet 写真展』

東京駅前の行幸通り地下通路で、国家戦略特区イベントとして開催！

三菱地所株式会社は、写真・動画共有SNS「Instagram（インスタグラム）」のユーザーを集めて行ったフォトイベントで撮影された丸の内の景観写真を展示する、『Marunouchipix Meet 写真展』を、東京駅と二重橋前駅を繋ぐ行幸通り地下通路で本日11月17日（火）より開催します。

<Marunouchipix Meet 写真展の概要>

①SNSを活用した街の魅力発信、賑わいの創出

- ・10月4日に丸の内エリア就業者や写真好きの方など、幅広いInstagramユーザー約100名が参加する写真撮影イベントを開催。
- ・当日参加者が撮影し、Instagramに投稿された写真約1,300枚から約800枚を選定して、行幸通り地下通路のギャラリーと柱に掲出。
- ・一部の優秀作品については、丸の内エリアの無料巡回バス「丸の内シャトル」車体へのラッピングも実施。

②国家戦略特区イベントとして行幸通り地下通路で開催

- ・行幸通り地下通路という公共空間に、街の魅力を発信する写真や協賛広告を掲出。
- ・千代田区の後援を受け、国家戦略道路占用事業として実施。
- ・道路空間の活用拡大に向けた社会実験「大手町・丸の内・有楽町地区公的空間活用モデル事業2015」の一環として、公的空間を活用した街の賑わい創出を図る。

<写真展>



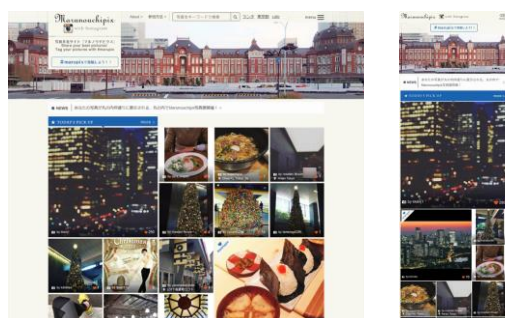
<バスラッピング>



1. SNS を活用した街の魅力発信、賑わいの創出

●写真投稿 SNS 「Instagram」 を活用した写真共有ウェブサイト「Marunouchipix」

- ・三菱地所は「Instagram」を活用した写真共有ウェブサイト「Marunouchipix」を運営しています。[\(http://photo.marunouchi.com/\)](http://photo.marunouchi.com/)。
- ・「#marupix」や「#丸の内」「#marunouchi」などのハッシュタグとともに投稿されている写真を抽出してウェブサイト上に並べることで、エリア就業者や来街者から投稿された写真をリアルタイムで楽しむことができます。(2015年10月時点で投稿数約13万枚)



▲Marunouchipix／PC・スマートフォン画面)

●Instagram ユーザーを集めた写真撮影イベントの実施

- ・丸の内仲通りが平成27年度「都市景観大賞（都市空間部門）」の最高賞である「大賞（国土交通大臣賞）」を受賞したことを記念して、Instagram ユーザーを集めて丸の内の写真を撮影・Instagramへ投稿するイベント「Marunouchipix Meet」を10月4日（都市景観の日）に開催しました。
- ・イベント当日は、丸の内エリア就業者や写真好きの方など、幅広いInstagram ユーザー約100名が参加し、撮影した写真のInstagram投稿数は約1,300枚にのびりました。



▲フォトイベントの様子

●Instagram の写真を街に反映

- ・11月17日から開始する写真展では、「Marunouchipix Meet」で撮影された写真の中から約800枚を選定して掲出します。
- ・一部の優秀作品については、丸の内エリアの無料巡回バス「丸の内シャトル」車体にラッピングを実施します。
- ・なお、これまでも三菱地所では「Marunouchipix」に投稿された写真を、「(仮称)丸の内3-2計画」の工事現場の仮囲いに掲出するなど、来街者とともに丸の内を盛り上げる企画を実施してきました。

2. 国家戦略特区イベントとしての位置づけ

●今回のイベントの位置づけ

- ・今回の写真展は、国家戦略道路占用事業*として、千代田区の後援を受けて実施します。
- ・写真展の協賛広告を募集し、展示写真とともに公的空間である行幸通り地下通路の支柱に掲出。公的空間活用による収益を街の魅力向上に役立てる、という仕組みの成立性を検証する「公的空間活用モデル事業」の一環として位置づけられています。(モデル事業の詳細は下記参照)

※国家戦略特別区域「東京圏」で認定された道路の区域において道路法の特例を活用し、イベントの開催時におけるカフェ・ベンチなどの設置等により都心型 MICE 及び都市観光の促進を図るもの。



▲催事協賛広告の掲出

●公的空間活用モデル事業の実施エリアとしての丸の内

- ・丸の内では、2015年7月31日～2016年3月31日の期間で、道路空間を活かした街の賑わいの創出により国際競争力の強化を図る社会実験である「大手町・丸の内・有楽町地区 公的空間活用モデル事業 2015」が実施されています。
- ・対象エリアは、2015年3月に国家戦略特区の「国家戦略道路占用事業」の対象地域に指定された、丸の内仲通り、行幸通り、行幸通り地下通路・広場、大手町川端緑道の4エリアです。
- ・千代田区、東京都、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町まちづくり協議会、NPO法人大丸有エリアマネジメント協会の4団体で構成される、「大手町・丸の内・有楽町地区 公的空間活用モデル事業 2015 実行委員会」が、街の賑わいを継続的に高めていくために、道路空間を活用したオープンカフェや広告などの収益を街の魅力向上に役立てる仕組みの構築を公民連携で目指しています。
- ・本社会実験においては、公的空間利活用の行政手続きや運営サポートを地元のエリアマネジメント団体である、大丸有エリアマネジメント協会が担い、円滑な開催を支援しています。



▲道路空間活用のイメージ

<Marunouchipix Meet 写真展>

展示期間：2015年11月17日（火）～2016年1月14日（木）

展示場所：行幸通り地下通路（東京駅前の新丸ビル・丸ビル間地下通路）

主催：三菱地所株式会社

後援：千代田区

協力：NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会

協賛：公益財団法人出光美術館、大成建設株式会社、株式会社竹中工務店、株式会社東京国際フォーラム、東京建物株式会社、日本郵便株式会社、公益財団法人東日本鉄道文化財団、公益財団法人三井文庫 三井記念美術館、三菱UFJ信託銀行株式会社、森トラスト株式会社



【同時開催】

<Marunouchipixers 写真展>

丸の内の写真共有サイトMarunouchipixに、魅力的な丸の内の写真を投稿しているインスタグラマー14人による個展を、「Marunouchipix Meet写真展」と同時期に行幸通り地下通路にて開催。

Dynamic Harmony

Tokyo Marunouchi

当社は2015年8月、丸の内（大手町・丸の内・有楽町・常盤橋地区）エリアのまちづくりコンセプト「Open」「Interactive」「Network」「Diversity」「Sustainable」を踏まえ、まちづくりコンセプトを伝えるワード「Dynamic Harmony」を制定しました。

「あらゆるものをダイナミックに調和させ、新たな価値を生み出す街」丸の内。

それは、私たち三菱地所が世界に発信する街のあり方です。

参考

三菱地所は2013年4月にソーシャルメディア・コミュニケーション戦略の第1弾として、丸の内エリアをテーマとしたFacebookページ「MEET at Marunouchi」を立ち上げて以後、第2弾としてInstagramを活用したウェブサイト「Marunouchipix」、第3弾としてYouTubeの丸の内チャンネル「MEET@Marunouchi」を開設し、海外への丸の内の魅力の発信を視野に入れたソーシャルメディア・コミュニケーション戦略を積極的に推進しています。

1. Facebook ページ「MEET at Marunouchi」

内容：丸の内エリアをテーマとする三菱地所公式 Facebook ページ。丸の内エリアのニュースやイベント情報等を幅広く情報発信。(2015年10月末時点 ファン 50,519人)

URL：<http://www.facebook.com/meet.at.marunouchi>



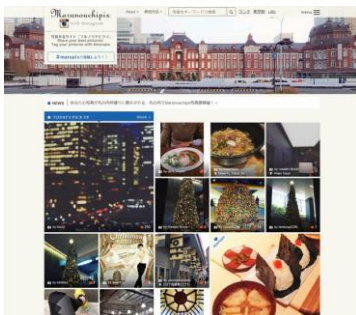
2. 写真共有ウェブサイト「Marunouchipix (マルノウチピクス)」

サイトの閲覧 (PC/スマートフォンどちらにも対応)：

- ・どなたでもサイトの閲覧が可能。(Instagram アカウントがなくても閲覧できます)
- ・日々更新される丸の内の写真が楽しめます。

写真の投稿：

- ・Instagram のアカウントを持っていれば、投稿可能。
- ・丸の内ですらった写真に「#丸の内」「#marunouchi」「#marupix」などのハッシュタグをつけて投稿すると、その写真が Marunouchipix に掲載されます。



(Marunouchipix/PC・スマートフォン画面)



(Instagram 公式アカウント「@marunouchipix」)

3. YouTube 丸の内チャンネル「MEET@Marunouchi」

内容：丸の内の魅力を伝えるショートムービーやイベント動画などを制作し発信。

(2015年10月末時点で47本設置)

